

・ テーマ 「森に生きる日本文化」

・ 出展事業内容

1. 屋外出展

「千年の森」の造成

- ・ 東ゲート付近の約2,000平方メートルに中京地区の社叢に典型的な常緑樹を中心とした森を再現（博覧会終了後は記念公園の一画として存置）

博覧会シンボルタワー頭頂部「天空鎮守の森」への植栽

- ・ 博覧会場中央広場の前面に造成された巨大緑化壁「バイオ・ラング」に設置された2本の塔（高さ25メートル）の頭頂部各20平方メートルに社叢を構成する樹木を植栽（博覧会終了後、樹木は「千年の森」に移植）

2. 映像作品の制作

- ・ ハイビジョン映像作品「日本は森の国」シリーズ5本を制作し、千年の森東屋で常時上映

- ・ 籠もりくの大和（17分15秒）
- ・ 神の木・神の森（17分3秒）
- ・ 森をつくる話（16分52秒）
- ・ 森のまつり（27分15秒）
- ・ 森と現代文明（14分40秒）

- ・ 神宮式年遷宮関連催事並びに出展記念シンポジウム記録映像の作成

3. 神宮式年遷宮関連催事「日本から世界へ 『伊勢神宮式年遷宮御杣始祭』 伝統の序章」の開催

日時：2005年6月3日（金）11:45～13:45

会場：愛・地球博長久手会場愛・地球広場

概要：

「御杣始祭」のハイビジョン実況中継と遷宮事業の概要説明

同日に長野県木曾郡上松町で斎行された「御杣始祭」を、愛・地球広場正面のエキスポビジョン（840インチ）に、NHKによるハイビジョン映像で中継すると同時に、過去の遷宮事業の概要を、映像を交えて解説

神賑行事の実演：エキスポビジョン前ステージ

- ・ 切り出された用材を運ぶ木曳にあわせて奉納される神事芸能の実演
 - ・ 裏木曾・付知（御杣）：
 - ・ 御樋代木奉曳式（みひしろぎほうえいしき）の再現
 - ・ 岐阜県指定重要無形文化財「木曳音頭」・おんぼい節の実演
 - ・ 伊勢市：伊勢音頭
- ・ 神事芸能の実演
 - ・ 秩父屋台囃子、さいたま市宮町神輿の巡行

4. 出展記念シンポジウム「森、水といのち ～社叢が育む生命の根源～」の開催

日時：2005年6月4日（土）13:00～18:00

会場：真清田神社参集殿（尾張一宮）

主催：NPO 法人社叢学会 愛・地球博出展実行委員会

共催：NPO 法人神道国際学会

開催助成：独立行政法人国際交流基金

概要：

基調講演「鎮守の森とこれからの日本の風土性」

オーギュスタン・ベルク（フランス国立社会科学高等研究院教授・地理学）

パネルディスカッション

パネリスト

- ・ オーギュスタン・ベルク
- ・ 大崎 正治（國學院大學経済学部教授）
- ・ 李 春子（京都大学大学院人間・環境研究科博士課程修了）
- ・ 上田 篤（社叢学会副理事長・京都精華大学名誉教授）

コーディネーター：蘭田 稔（社叢学会副理事長・京都大学名誉教授）

総括 米山 俊直（社叢学会理事・京都大学名誉教授）